

4月 敵づくり、夏野菜植え付け、山菜野草とり

「ほら、あれがヨモギよ」
 「幹がトゲトゲしてるのがタラの芽よ」
 「クレソンはしゃぶしゃぶにするとおいしいのよ」
 田んぼの脇の水辺には、クレソンやセリが密集していました。
 街で売っているもの比べて、茎が太くて力強い。
 「スーパーや飲食店以外で見たの初めて。
 クレソンってこんなに生き茂るものなんですね(笑)」



B D

私たちが見つけた
伊熊のとおき



イクMAP



7月 納涼祭(流しそうめん、BBQ)

「始流式」。
 弊社代表の田中がそうめんを流し、元気ファームの師匠・後藤一さんがキャッチするというユニークなセレモニーです。
 鹿や猪などのジビエ肉、伊熊で採れた野菜やフルーツが次々と炭火で焼かれ、香ばしい匂いがたまりません。



G

5月 田植え・苗植え

田植え・トマトやナス、パプリカ、スイートコーンの苗植えです
 田植えプリンスト原田さん



スペシャル企画
「増福寺見学ツアー」!



増福寺

その昔、風鈴は魔除け、邪気除けとして用いられていたそうです。美しい音色に心と耳を傾けながら、涼を感じるひとときとなりました。ここ増福寺では、風鈴の短冊に願いを書いて祈願奉納する「風鈴奉納」ができるそうです。

秋季八幡神社大祭
若手メンバーも太鼓を叩いて、お祭りに参加!

旭八幡神社



F

9月 米収穫

強力な助っ人が待っていてくれました!
 後藤キヨさん、なんと大正12年生まれ93歳!!
 いつも農作業を手伝ってくれる鈴木辰彦さんです!
 まったく躊躇することなく、あっさりとマムシを成敗。
 さらに、その場で皮をはいで驚愕の一言。
 「お昼ごはんだね(ニコリ)」。食べるんですね(笑)です。



C

8月 夏野菜の収穫と草刈り、秋冬野菜の植え付け

5月に田植えをした「Manto米(マントウマイ)」の田んぼじゃがいも、にんじん、山ごぼう、大根、白菜、キャベツ、ブロッコリー自分たちで収穫した野菜なので、余計においしく感じますね!
 お肉なくても大満足です。



B

6月 夏野菜収穫、手入れと草刈り

夏野菜を植えてから1カ月しか経っていないのに、びっくりするほど成長していきびっくりする! ナスの手入れがひと段落したら、草刈りロボが出動!!



五平餅づくりから「昔から、家族が風邪を引くと必ずこの五平餅を作ったのよ。焼いたネギ味噌が体にいいの」と梶さん素敵な1日の締めくりに感謝です。

B A



「もしマムシが出たら、クワでチョキンと切っちゃってくださいね」

大ケヤキ



490

ブルーベリーの木



元気ハウス



A

B

元気ファーム

ホタル観賞タイム!
 その美しい姿はみなさんの心に残っていくでしょう。



H

ライスセンター

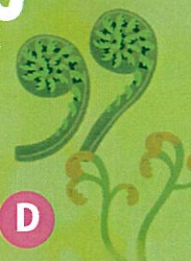


C

G 茶羽会館



D 山菜いっぱい



「IKUDELI」

伊熊町のおいしい野菜やお米を届けたい。そんな想いから伊熊町のカットした野菜がみずみずしいうちに、本社と Manto Man Passo のランチタイムにデリバリー。



本社

L

7月 「IKUDELI」

採れたての新鮮野菜に、社員のみなさん大興奮! 配布後、「にんじん食べられた!」と興奮気味に戻ってきたのは HR 事業部の片山課長にんじんが苦手な普段は口にしないそうですが、伊熊の採れたてにんじんはむしろおいしく感じました。

野菜を食べたみなさんが笑顔になり、その笑顔を見て実行委員が笑顔になる。「IKUDELI」はおいしい野菜だけでなく、素敵な笑顔をデリバリーする企画なんだと実感。

B L



三河安城オフィスの福本さん

なんと自転車で来たそうです! 伊熊まで! 距離にして約47km!! 元気ファームは、意外なところまで体づくり・健康づくりにも貢献しているようです(笑)



水の掛け合いって大人になってもテッパンな川遊び

K

11月 「収穫感謝祭」

1年間の集大成として、盛大な「お・も・て・な・し」を成し遂げるべく、食事メニューもイベントも全力で臨みます。
 2015年は 料理対決
 2016年は もちつき大会
 2017年は 「いくまん」
 いくまんは、生地に Manto 米で作った自家製米粉を使用したこだわりの逸品。お米をミキサーにかけて米粉にし、練った生地を1枚1枚丸く伸ばして餡を包むところまで、すべて手作業。4種類の餡も、もちろん手づくりです!
 春に摘んだヨモギのヨモギ餅、こんにゃく、煮物に都会の若者たちは感動♪
 「始つき式」「始流式」「餅早つき大会」「〇×クイズ」など、イベントメニューも大盛り上がりです。



H G

